



議会せきがはら

第
188
号



関ヶ原町子ども議会を開催（令和6年2月14日）

関ヶ原小学校6年生の6名が町に提案しました。

2頁 ◆令和6年の抱負

3～5頁 ◆第5回定例会の概要

6～11頁 ◆関ヶ原町のココを聞く！ 一般質問

令和6年の抱負

1番 北村 一磨 議員

議員となり一年が経とうとしており、町民の皆様からの熱い期待を肌で感じております。当町の最大の課題である人口減少問題に対し、魅力ある町づくりを目指して議論を重ねていきたいと思っています。皆様から信頼される議員として責任を全うし、活動して参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

2番 吉田 仁 議員

生まれ育った大好きな関ヶ原。人口減少・少子高齢化が進み、そこから生じる様々な課題が見えてきています。アクティブに行動し、ひとつひとつの課題に一生懸命取り組みでまいります。一人の百歩より、百人の一步。頑張ります。

3番 子安 健司 議員

能登半島地震で被害に遭われた方々に、心からお見舞い申し上げます。昨年は、長かったコロナの重石がとれ、4年ぶりに色々なイベントが再開され、明るさが戻ってきました。一方、ウクライナ問題や中東情勢、予期せぬ自然災害の発生など厳しい試練も予想されますが、これからも町民の皆様のご期待にお応えできるようしっかりと取り組んでまいります。

4番 中川 武子 議員

明けましておめでとうございます。今年は辰年です。辰は十二支の中では唯一架空の生き物で縁起が良いとされる「龍」を意味し、活力旺盛で大きく成長し、形が整う年だそうですね。新しい年を迎え、本町が「龍」のごとく大きく成長発展することを願いますとともに、皆様お一人お一人の良き一年となりますよう、議員活動に邁進致します。今年もどうかよろしく願います。

5番 田中 由紀子 議員

政治資金パーティ券の裏金事件が、昨年暮れから問題になっていきます。お金で政治がゆがめられては困ります。その結果が、今の貧困と格差社会につながっているのではないのでしょうか。何回でも言います。関ヶ原駅にエレベーターを！行政も町民のみなさんも力を合わせて推進していきましょう。ご協力よろしくおねがい致します。

6番 松井 正樹 議員

安心・安全・安定。そして、希望。私は、この町・関ヶ原で60年生きてきました。愛する町・関ヶ原。獣害対策・除雪対策・新設こども園等、喫緊の課題は山積みです。住民・議会・行政。三位一体で諸課題に取り組みます。

7番 谷口 輝男 議員

四年続いたコロナ感染症も5類に移行し、やっと社会活動が戻ってきました。今後、最も重要な課題の人口減少対策、財政健全化を考えていかなければなりません。議長としての議会運営、行政へのチェック機能を遂行するとともに、皆様の声に耳を傾け「町民が幸せと感じる町づくり」のため、考え行動してまいります。皆様のご指導・鞭撻のほどよろしく願います。

8番 高木 博之 議員

新型コロナウイルス感染症の流行から4年近く経過し感染症法の分類が2類から5類へ去年の5月に変更され、行動制限がなくなり社会情勢に明るい兆しがみられるようになってきた中で、今年の1月に能登半島地震が発生しました。近年中に起きる可能性のある南海トラフ地震等災害対策のなかで自助・共助の重要性も再認識しました。ぜひ皆様方のご協力をお願いします。

第5回 定例会

12月5日～15日

令和6年4月1日から

公共下水道事業・農業集落排水事業

公営企業会計へ移行

報告・承認	1件
条例	10件
予算	10件
議決	1件
その他	1件

令和5年第5回関ヶ原町議会定例会は、12月5日（火）から12月15日（金）までの11日間、条例の制定及び一部改正、補正予算などの審議を行い、いずれも原案の通り可決した。最終日には、5議員が一般質問した。

報告・承認

☆一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認

会計年度任用職員1名の雇用に伴う関係経費44万4千円を追加したことの報告を受け、承認するもの。

条例関係

☆議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

☆常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に伴う国の対応に準じ、期末手当を引き上げるため、所要の改正を行うもの。

☆職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に伴う国の対応に準じ、給料表、期末手当及び勤勉手当の改定を行うため、所要の改正を行うもの。

☆会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、関ヶ原町職員の給与に関する条例が一部改正されたことに伴い、条例中の引用箇所を改正するもの。

☆国民健康保険条例の一部改正

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するため、健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、令和6年1月1日から国民健康保険の出産被保険者に係る産後期間の保険料を減額する措置を講じる等、所要の改正を行うもの。

☆企業立地促進条例の一部改正

統計法第28条第1項の規定により、統計基準として定められている日本標準産業分類が新たに施行されることに伴い、条例中の引用箇所を改正するもの。

☆町営住宅管理条例の一部改正

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、入居者の資格を追加するもの。

☆公共下水道事業の設置等に関する条例の制定

☆農業集落排水事業の設置等に関する条例の制定

人口3万人未満の市町村において、平成31年度から平成35年度（令和5年度）までの5年間に、公共下水道事業及び農業集落排水事業について、公営企業会計へ移行するように国から要請があった。これに伴い、令和6年4月1日から公共下水道事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法に規定する財務規定等を適用するため、新たに条例を制定するもの。

☆手数料徴収条例の一部改正

戸籍法の一部を改正する法律の施行により、地方公共団体の手数料の標準に関する政令が一部改正され、戸籍謄本等の広域交付事務及び戸籍（除籍）電子証明書提供用識別符号の発行手数料等を新たに規定する等、所要の改正を行うもの。

予算関係

☆公共下水道事業特別会計への繰入金の変更

公共下水道建設費交付金事業の減額のため、一般会計からの繰入金を次のように変更する。

変更前 2億6,114万5千円
変更後 2億6,095万3千円

☆一般会計補正予算(第6号)

歳出は、住民税非課税世帯重点支援交付金事業関連経費、障害者自立支援給付費、福祉

医療費助成金、県営事業負担金、新関ヶ原診療所線の土地購入費などを追加する。歳入は、中山間地域総合整備事業分担金、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、障害者自立支援給付費等負担金、福祉医療費助成事業補助金などによる増額に伴い、歳入歳出予算それぞれ1億2,471万9千円を追加し、総額46億6,616万9千円とするもの。

左表参照

令和5年度一般会計補正予算【第6号】主なもの

1億2,471万9千円を追加

歳入

・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	5,103万1千円
・障害者自立支援給付費等負担金（国・県）	1,800万円
・福祉医療費助成事業補助金	337万2千円
・過疎対策事業債（県営事業負担金）	1,000万円
・過疎対策事業債（新関ヶ原診療所線道路改良事業）	490万円
・過疎対策事業債（急傾斜崩壊対策事業負担金）	100万円
・前年度繰越金	3,205万2千円

歳出

・住民税非課税世帯重点支援交付金事業	5,055万4千円
・障害者自立支援給付費	2,400万円
・福祉医療費助成金	1,034万5千円
・県営事業負担金	1,360万円
・土地購入費（新関ヶ原診療所線）	420万円
・急傾斜崩壊対策事業負担金	100万円

☆後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

人事院勧告による給料等の改定に伴い、人件費が不足するため、歳入歳出予算それぞれ16万4千円を追加し、総額1億5,218万9千円とするもの。

☆国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)

人事院勧告による人件費の不足見込分や出産被保険者の保険料減額措置に伴うシステム改修委託料などの増額に伴い、歳入歳出予算それぞれ371万円を追加し、総額8億1,400万2千円とするもの。

☆国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第4号)

岐阜大学との連携による「オンライン診療」等の準備を進めるための人件費の増額及び制度改正による総合健診

システム改定対応業務委託料などの増額に伴い、歳入歳出予算それぞれ175万9千円を追加し、総額6億1,201万5千円とするもの。

☆介護保険特別会計補正予算(第3号)

人事院勧告による人件費の不足見込分、制度改正に伴う電算等保守委託料、地域密着型介護サービス給付費、高額介護サービス費などの増額に伴い、歳入歳出予算それぞれ2,824万1千円を追加し、総額9億5,677万5千円とするもの。

☆介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)

人事院勧告による人件費の不足見込分、デイサービスセンターの会計年度任用職員新規採用1名分の人件費、給湯用ボイラーの燃料費などの増額に伴い、歳入歳出予算それ

ぞれ167万円を追加し、総額2億6,221万3千円とするもの。

☆今須農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

人事院勧告による給料等の改定に伴い、人件費が不足するため、歳入歳出予算それぞれ28万5千円を追加し、総額7,526万9千円とするもの。

☆公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

人事院勧告による人件費の不足見込分や関ヶ原浄化センターの機械及び電気設備の更新工事における事業費の精査などに伴い、歳入歳出予算それぞれ2,701万1千円を減額し、総額5億1,912万8千円とするもの。

☆水道事業会計補正予算(第3号)

収益的支出において、人事

院勧告による人件費の不足見込分や今須中町浄水場のろ過ポンプ1台の故障による旧ポンプの除却費など237万6千円を追加し、資本的支出においては、ポンプの取替工事費として79万2千円を追加するもの。

議員 発 議

☆議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定

地方自治法の一部を改正する法律の公布により、地方公共団体の議会議員の兼業禁止規定が改正された。

これまで、地方公共団体の議員個人とその自治体との請負は禁止されていたが、議員のなり手不足等の解消のため、令和5年3月施行の改正法において、「請負」の定義の明確化及び議員個人による請負に関する規制の緩和がなされ

た。これに伴い、各会計年度における町と議員との請負に関し、報告や公表をすることにより、請負の状況の透明性を確保し、議会の運営の公正及び事務の執行の適正を図るため、新たに条例を制定するもの。

そ の 他

☆建設工事委託に関する協定の変更

令和4年9月6日に議決を得て、日本下水道事業団と締結した公共下水道根幹的施設の建設工事委託の協定を次のとおり変更するもの。

○協定金額

変更前 2億3,000万円
変更後 2億336万円

○変更の理由

補助対象事業費の変更による。

関ヶ原小学校6年生が 定例会を傍聴しました

令和5年12月5日(火)の議会定例会初日に関ヶ原小学校の6年生児童45名が本会議を傍聴しました。



12月議会定例会の初日は、21議案が上程され、西脇町長が提案説明を行った後、一部議案については担当課長が詳細説明を行いました。

児童はクラスごとの2グループに分かれ、約20分間、提

案説明や質疑応答に熱心に耳を傾け、真剣な表情でメモを取っていました。



昨年5月に関ヶ原小学校で行った谷口議長と関東事務局長の講話をきっかけに、令和6年2月14日(水)開催予定の『子ども議会』を最終目標とし、6年生は総合的な学習の時間を中心に調査・研究を進めています。今年度は6名の子ども議員が関ヶ原町に対し、提案をしてくれる予定です。

関ヶ原町のココを聞く！ 一般質問

第5回議会定例会質問者

高木 博之 議員
田中由紀子 議員
松井 正樹 議員
中川 武子 議員
子安 健司 議員



高木 博之 議員

質問1 電話での詐欺被害の防止について

電話などによる詐欺事件の中で、高齢者の被害が9割近いとされている。一番の対策は犯人と直接話さないことだが、電話の相手が分からない状況では不安になる方も多い。そこで、電話による詐欺の対策の一つとして、留守番機能付の電話機が有効であるとの報告があるため、留守番機能付電話機の導入支援などについて、考えを伺う。

答【副町長】

近年、特殊詐欺による事件が増加していることは認識しており、中でも二七電話による詐欺事件の被害者が後を絶

たない状況で、防犯対策は必須であると考えている。留守番機能を含む防犯機能付電話機は防犯対策として大変有効であるとの認識している。関ヶ原町内における電話による詐欺事案は過去3年間で3件であり、今年は1件も確認されていない。消費生活相談への相談件数も少なく、町民の方々の被害防止意識も向上しているものと感じており、現時点では購入費の補助などは考えていない。

また、町民の方にはNTT西日本の特殊詐欺対策サービスなど民間サービスの利用を検討するなど、被害防止に努めていただきたい。町としては、引き続き、所轄警察署と情報連携を密にしながら、防災アプリなどを活用し、町民の方への情報提供と被害防止の啓発活動に努めていく。

再質問

NTT西日本のサービスはNTT西日本と契約している場合のみ無償化の対象となる。

また、警察では二七電話詐欺の防止を啓発するリーフレットが作成されており、町の広報誌に掲載している自治体もある中で、関ヶ原町でも検討いただきたい。

答【副町長】

関ヶ原町においても、「広報せきがはら」などを利用し、啓発活動に努めていきたい。



田中 由紀子 議員

質問1

関ヶ原駅のエレベーター実現に向け、利用者を増やす企画を

関ヶ原駅のエレベーター設置の要望は日々高まっている。

「どうする家康」の影響も大きく、観光客が急増しているが、関ヶ原駅にエレベーターがない、洋式トイレがない、

時計がないという苦情が聞えてくる。令和6年1月6日から始まる「さあー関ヶ原に出かけよう！GO！GO！セキガハラ 5館を巡る！スタンプラリー！」に関ヶ原駅の利用者に何か特典を付けるなど、記念館や観光協会等と協力し、各種イベントや合戦祭りの際に、関ヶ原駅の利用を促進する企画が必要ではないか。駅利用者を増やすために町はどんな努力をしているのか。

答【町長】

関ヶ原駅はホーム幅の構造的な問題など、要望や協議では解決できない課題があるため、1日平均利用者数2,000人以上をクリアし、JR東海が主体となり、事業を進めていただくことが最善である。しかし、人口減少の影響から定期利用者を増やすことは厳しい状況のため、観光客などの定期外利用者を増やすことが重要であると考えている。1月から始まるスタンプ

ラリーは冬季観光誘客対策として、車での来客を想定したものである。来年度の合戦祭りにおいて、駅利用者インセンティブを与えるような取組の検討を進めるとともに、イベント開催時のJR利用を推奨する案内もしていきたい。

また、東海道線沿いの県内市町と連携を図り、広域でのJRの利用促進及び駅周辺の活性化を図れるような事業展開について協議をしていきたいと考えている。

再質問

インセンティブの具体的なイメージはあるのか。

答【企画政策課長】

合戦祭りの際に、駐車場不足も考慮し、駅利用者限定でお土産もしくはノベルティーをお配りすることを想定している。

再々質問

甲冑好きの方が集まって、町内を甲冑を着て歩く行軍イベントが行われていたり、武将隊 関ヶ原組の皆さんはイ

ベントを通じて、町外から観光客を呼び込んでいるので、町も連携を図って何かできないのか。

また、観光客向けの対策だけではなく、町民向けに駅利用の促進対策を考えるべきではないか。

答【町長】

おもてなし武将隊 関ヶ原組をはじめとした各グループが企画した取組に対し、町が助成し、積極的に進めることができればと考えている。

質問2 介護認定前の住宅改修について

問

要介護者等が自宅に手すりの取付等の住宅改修を行なうとする時、実際の住宅改修費の7割から9割相当額が支給される制度があるが、新たに認定を受ける場合、関ヶ原町は認定が下りるまでの期間に改修工事ができないと聞いた。他市町においては、認定が下りなかった場合は全額自

己負担を前提に、すぐに改修工事ができると聞いた。安心して自宅で暮らせるよう、認定が下りるまでの暫定的な運用が必要ではないか。

答【住民課長】

介護保険制度における住宅改修は、介護認定を受けていること、生活上改修が必要ない工事であることが給付決定の要件となる。住宅改修費の支給における事務手続きは介護保険法施行規則に定められており、基本的には退院・退所後、自宅での生活になってからの申請になるが、やむを得ない事情がある場合は入院・入所中に住宅改修を行い、完了後に支給申請をすることが認められている。関ヶ原町ではやむを得ない事情がある場合、退院の予定が決まり、身体状況から必要とされる工事が確定した段階で住宅改修の事前申請をしていたらいい。在宅生活が支給に係る必須条件となるため、退院が延長になった場合や施設入所

となった場合は支給対象外となり、全額自己負担となることを伝え、家族やケアマネージャーと十分相談した上で住宅改修を検討いただくよう助言している。住宅改修の相談は窓口にて口頭で説明を行うことが多いため、受け止め方が異なる場合もあるので、今後は入院・入所中または認定申請中に住宅改修を希望される方については、書面にて今まで以上に丁寧な説明を行い、事務手続きを進めていきたいと考えている。

再質問

①ここ数年の住宅改修の実績と認定が下りる前の住宅改修の件数を教えていただきたい。
②やむを得ない事情がある場合は認定が下りる前でも申請を受け付けているとのことであるが、ある認定申請の方が住宅改修を希望したところ、認定が下りるまでに約1カ月かかるため、認定が下りてからしかできないとの説明だったので、至急必要であった階

段の手すりのみ自費で取り付けたと聞いた。現場との乖離が生じているかもしれないためは正していただきたい。

③高齢化が進む関ヶ原町において、介護認定を受けるまでには至らない方が手すりを取り付けた場合に補助があるといいので、検討いただきたい。

答【住民課長】

①介護住宅改修と介護予防住宅改修を合わせ、令和3年度が49件、令和4年度が29件、令和5年度が現在申請中を含め31件である。このうち介護認定申請中の事前申請は、令和4年度と令和5年度で各1件である。
②やむを得ない事情がある場合は極力、相談内容に応じて対応しているが、手すりの取付も日常生活に必要不可欠な場所なのかにもよるため、今後は改修を希望される方の要望内容を十分確認し、必要に応じて認定が下りる前でも施工できる方法を検討していきたい。

③介護保険の住宅改修は、在宅介護を重視して高齢者の自立を支援することを目的としているため、介護保険適用外での手すりの取付は、どちらかというトリフォームに該当すると思われるため、住民課としては今のところ補助は検討していない。

再々質問

介護保険外でのバリアフリー化について、介護認定を受ける以前に、少しでも生活しやすいように住環境を整えることは大切だと考えるため、町として補助ができないか、町長の考えを伺う。

答【町長】

介護保険制度の住宅改修には限度額も決められており、それを上回るような補助は制度の根幹を覆すことになりかねないため、十分に精査する必要がある。金銭的な補助はできないかもしれないが、情報提供はしていきたい。

質問3 带状疱疹ワクチン接種に補助を

問

带状疱疹は80歳までに3人に1人が発症すると言われ、高齢者は重篤化するリスクが高くなる。50歳以上の方はワクチン接種をすることで、発症及び重症化が予防できるとされており、予防接種推進専門協議会は厚生労働省に対し、带状疱疹ワクチンの定期接種化を要望している。ワクチンには8,000円前後と2万2,000円前後の2種類あるが、どちらも高額であるため、接種費用を補助する自治体が増えてきた。関ヶ原町でも接種費用の補助を検討していただけないか。

答【診療所事務局長】

予防接種には定期接種と任意接種があり、任意接種は基本的に全額自己負担となる。

令和5年4月調査によると、岐阜県内の16市町村が带状疱疹ワクチン接種の費用を助成

している。带状疱疹ワクチンの定期接種化については、厚生労働省の審議会において検討が進められており、国の動向を注視している状況である。健康被害に対する補償額などは定期接種と任意接種で差があることから、任意接種である带状疱疹ワクチンの接種費用の助成にあたっては、国の議論などを見守った上で、慎重に判断し、今後、国の方針が定まった場合は速やかに対応したいと考えている。

再質問

補助を実施している自治体に聞いたところ、補償については救済制度があるとのことであった。定期接種になると自治体が主体となって実施することになるため、一般質問をした意味がなくなってしまうが、定期接種になるのはいつか。

答【町長】

带状疱疹ワクチンについては、現在、厚生労働省の審議会において、定期予防接種と

して追加を検討するワクチンの一つとして、様々な検証や評価が進められている状況である。不活化ワクチンは効果が非常に高いのに対し、生ワクチンは免疫不全症の方は接種してはいけないなどの注意が必要であるため、町として安易に助成するとは言えないので、しばらくは国の動向を注視していく。

再々質問

予防接種推進専門協議会が定期接種化を強く要望しているということは、重篤化の危険性を真に感じているからだと考える。国の方針がいつ決まるのかも分からない。生ワクチンが危険であるのなら、不活化ワクチンに限定して補助を出すということも可能であると思うが、考えを伺う。

答【町長】

生ワクチンは水ぼうそうに罹患していない人には効かないとのことである。また、菌を持っている人に生ワクチンを接種することによって、発

症する可能性が高くなるのではないかという考え方もあり、生ワクチンについては、十分な検討が必要であると考えている。不活化ワクチンだけを助成するかは医療機関とも相談した上で、慎重に検討を進めていきたい。



松井 正樹 議員

質問1 獣害対策について

問

①全国的に熊の出没が多発しており、関ヶ原町においても、過去に熊の捕獲や目撃情報があり、心配である。そこで、関ヶ原町における今シーズンの熊の出没・目撃回数、被害件数と近隣市町の状況を伺う。また、熊が出没した場合の

マニュアル、各機関との連携はどうかというのか伺う。

②猿の被害も大きな問題であるが、対策として今須の祖父谷地区に設置されるサル檻、いわゆる「地獄檻」について概要、システム、規模、予算及び財源、運営方法などを説明してほしい。また、猿も鹿も絶対数を減らすことが肝心であるが「地獄檻」の仕掛けを見破られる可能性もある。どのように考えているのか。

答【産業建設課長】

①令和5年度の熊の目撃情報は、瑞竜付近の山で5月頃に3件続けてあったが、それ以降の目撃情報はなく、被害情報もない。近隣市町の場合は、大垣市で目撃情報が2件、被害情報はなく、垂井町で目撃情報が2件、被害情報が1件とのことである。

熊が出た場合の対応については、岐阜県ツキノワグマ管理マニュアルに基づき、県、警察、学校などの関係機関と速やかに情報を共有し、

広報無線による注意喚起や現場パトロールなどを随時実施している。

②檻の大きさは4メートル掛ける8メートル、高さ2・6メートルで、天井にある大きな開口部から侵入できる構造となっている。開口部はつかみどころのない造りのため、一度入ると出られない蟻地獄のような仕組みのため、「地獄檻」と呼ばれている。設置・

運営は関ヶ原町有害鳥獣被害防止協議会が事業主体となり、餌付けや見回りは平井及び祖父谷の獣害対策協議会に協力をお願いしている。運営方法は、最初は檻から出入りができるよう渡木やはしごを設置し、猿の群れが檻を警戒することなく出入りするようになるまでの約2カ月間、餌付けを続ける。その後、捕獲日を決め、群れごと捕獲する計画をしている。檻の購入費用は1基112万2,000円で、概ね3分の2が国の補助金である。捕獲までにかかる餌代

などは町からの補助金を充て

る。

昨今の温暖化により、冬季の気温が以前ほど下がらないなどの自然環境要因及び猟師の減少による捕獲頭数の減少に伴い、猿や鹿は増加の一途である。獣害対策には有害鳥獣捕獲事業が非常に重要であり、引き続き取り組んでいく。



▶今須の祖父谷地区に設置されたサル檻。
野菜や果物で餌付けしている。

再質問

①1基100万超えという高価な檻であり、また別の場所に設置して使うと思うが、次の候補地は決まっているのか。

設置場所の選択はどのように行っているのか。

また、猿害対策の一環として、ドローンを使っていたが、今後はどのようなになるのか。

②獣害対策として絶大な威力を発揮している防護柵も、設置して10年近くになる。未来永劫ではないので、設置し直す場合、器具などの補助はしていただけなのか伺う。

答【産業建設課長】

①一度設置をすると、解体して別の場所へ持つていくのは大きさと構造から困難であり、一旦休止という形を取り、また猿が現れるようになったら再利用するという運用になる。来年度も1基購入を要望しているが、設置場所は決まってい

ドローンによる威嚇は上の谷で3機運用しているが、効果があるとのことなので、当面は続けていく予定である。

②現時点では、傷んで使えなくなったというような報告は聞いていないが、更新の際には補助が必要であると個人的には考えるが、まだ何も決まっていないということでご理解いただきたい。



中川 武子 議員

質問1 観光推進事業の効果と今後について

問

岐阜関ヶ原古戦場記念館には、大河ドラマの影響もあり、大勢の観光客が訪れている。また、古戦場ランドデザイン事業も推進され、史跡整備

などが行われている。そこで、次のことについて伺う。

①関ヶ原へ訪れる観光客の町への波及効果はどのように現れているか。

②今後、町民にとってメリツトがある事業展開として、何か施策を考えているか。

答【町長】

岐阜関ヶ原古戦場記念館は令和2年10月に開館し、今年度は新型コロナウイルス感染症も落ち着き始め、「どうする家康」の放映もあり、来館者はすでに15万人を超えている。

①波及効果の現れとしては、関ヶ原古戦場保存会、関ヶ原

もりあげ隊、古戦場おもてなし武将隊 関ヶ原組などを中心に、町民全体が観光客をおもてなしし、観光のまちづくりに関わろうという機運が高まっていることであり、大変嬉しく思っている。

また、喫茶店や民泊、グランピングや甲冑館など、新たに観光事業にチャレンジする

動きが出てきたことで、町内の経済効果も上がってきていると感じている。

②1つ目は観光客が増え、観光のまちとして発展することで、町民の活躍の場が増え、

まちを誇りに思い、まちを愛する気持ちにつながっていくことが精神的なメリツトであるということ。2つ目に観光客が増え、観光産業が発展することで、まちが潤い、働く場も確保され、町民の豊かな生活に結びつくことが実質的なメリツトであるということ。つまり、観光客を増やすための施策を展開していくことだと考える。

また、魅力ある古戦場のまちづくりのため、史跡整備や誘客促進などの行政としての役割を果たす一方、観光産業を担うべき民間の活力を引き出し、起業意欲や進出意欲のある事業者に対して効果的な支援をしていくことも重要であると考えている。



子安 健司 議員

質問 1 西脇町政、3期目の3年間について

問

12月に入り、西脇町政も3期目最後の1年を迎える。3期目はコロナ禍でのスタートであったが、看護小規模多機能型居宅介護事業の導入や小中学校の統合を実施し、こども園の新園舎の建設や町民体育館の耐震工事に着手するなど、大きな成果をあげられた。これから締めくくりの1年を迎えるにあたり、3年間の問題点や反省点、課題はあるか。

また、予算の編成が始まるが、どのようなことに重点を置き、どのようなことに取り組むのか伺う。

答【町長】

この3年間、コロナ禍で事業の展開が思うようにできなかった点はあったが、令和3年4月に過疎地指定を受けたことで、今まで実施に至らなかった事業に着手し、今後の施策の展開に道筋をつけることができた。課題としては、多岐にわたってあるが、特に一点あげるとすれば、人口減少問題への対応である。緩和策として、出生数や移住者の増加を促す取組、適応策として、人口が減少しても持続的な地域をつくる挑戦の双方向からの施策展開が必要だと考えている。

次に令和6年度の予算編成について、歳入は税収の予測が困難な状況にあり、歳出は少子高齢化による扶助費の増加や公共施設の老朽化による維持管理費の増加など、さらに厳しさが増していくことから、将来に向け、健全な財政の確立を図ることが必要である。人口減少問題への対応や

DXを進め、SDGsの視点を意識した予算編成を進め、「笑顔あふれ 活気みなぎる 古戦場のまち せきがはら」の実現に向けたまちづくりを進めていきたいと考えている。

再質問

人口減少の防衛策として、住みやすいまちであることが重要だと思うが、町民の方からは買い物をする所が少ないとの声を聞く。スーパーが1つあることが理想的なため、スーパーの誘致にも力を入れていただきたいと思うが、町長の考えを伺う。

答【町長】

関ヶ原町内では買い物がいにくく、生鮮食品を扱っているお店はあるが、数が少ないため、まとまって欲しい時は町外へ出て行かないといけないという話をよく聞く。中小規模のスーパーが進出してくればありがたいと思うので、引き続き、誘致に向けて努力していきたい。

再々質問

今までどおりの誘致の仕方では、採算のことを考えると関ヶ原町にスーパーが進出することは大変難しいと思っています。そこで、売上げを補填するとか、土地の賃借料や税金に対する優遇措置を設けるなどのメリットを考えないと厳しいと思うが、再度、町長の考えを伺う。

答【町長】

売上げの補填や賃借料などの優遇措置は企業にとつてはメリットがあると思うが、今の関ヶ原町の財政状況を鑑みると、そこに力を入れ過ぎては財政状況がさらに厳しくなりかねない。企業がそのような条件下で進出してくれるのであれば、慎重に判断しないといけないが、何とか企業自体に努力していただけるような違った方面での支援を進めることができればと考えている。

※こちらに記載した内容は、

令和5年12月15日の議会定例会開催時点での情報であり、現在の変更になっているものもありますので、ご了承ください。

3月定例会初日は

3月1日(金)

開催の予定です。

開催日は変更になる場合があります。その他の日程を含め、決まり次第ホームページでお知らせします。

12月議会定例会の

傍聴者は11名でした。

関ヶ原小学校6年生の

児童数は含めておりません。

委員会報告

議会運営委員会

11月22日

第5回町議会定例会の会期日程等について協議した後、総務課長及び企画政策課長から提出予定議案の説明を受け、質疑応答を行った。

全員協議会

11月22日

(仮称)関ヶ原こども園の新築工事について、住民課長補佐から、施設の概要及び整備スケジュールについて説明を受けた後、設計委託業者である大建設計(株)から、こども園の基本設計案について設計図やイメージ図を用いて詳細な説明を受けた。出席議員からは、園舎の配置や建築材料、バリアフリーやセキュリティ等について質疑があり、町長や設計委託業者等が都度回答した。

産業建設課長からは町単土地改良事業補助金の金額変更について説明を受けた。

議会活動日誌

【11月】

1日 広島県大崎上島町議会総務福祉文教常任委員会行政視察受入
3日 功労者表彰式
第47回関ヶ原町美術展表彰式
5日 第14回野上中山道まつり
7日 第21回町老連グラウンドゴルフ大会
9日 関ヶ原町戦没者追悼式
12日 不破郡消防連合演習
大河ドラマ「どうする家康」パブリックビューイング&トークショー
16日～17日 議員視察研修
22日 議会運営委員会
24日 農林業振興審議会
28日～29日 第67回町村議会議長全国大会
第48回豪雪地帯町村議会議長全国大会

【1月】

5日 第5回議会定例会初日
6日 年末の交通安全推進協議会「不破の教育」研究大会
9日 関ヶ原町消防団懇親会
15日 第5回議会定例会最終日
20日 関ヶ原町商工会役員懇談会
21日 第2回介護保険運営協議会
27日 関ヶ原町商工会新年度予算陳情対応
消防団年末夜警激励
5日 新年挨拶まわり
6日 関ヶ原町消防出初式
7日 関ヶ原町二十歳の集い
16日 関ヶ原小学校子ども語り太鼓打ち初め会
19日 国保事業推進トップセミナー・岐阜県市町村国民健康保険運営協議会会長連絡協議会
20日 関ヶ原町商工会青年部との懇談会
30日 三重県名張市議会産業建設委員会行政視察受入
31日 地方財政対策等説明会・合同懇談会

【12月】

1日 岐阜県町村議会議長会第3回評議員会
2日 第19回関ヶ原町社会福祉大会・第22回いきいきサロンのつどい

視察研修報告

11月16日、17日

富山県氷見市

富山県の西北、能登半島の東側付け根部分に位置する氷見市は、寒ブリや氷見イワシなどの「食」、富山湾越しの立山連峰や長坂の棚田などの「景観」、大境洞窟住居跡や獅子舞などの「歴史」が有名です。

研修に訪れた氷見市役所の庁舎は、閉校となった高校の体育館と校舎棟の一部をコンバージョンし、整備されました。



▲氷見市役所庁舎

人口減少が進む氷見市では、「氷見市ＩＪＵ応援センター・みらいエンジン」と連携し、移住定住事業に積極的に取り組む、移住者は増加傾向にあります。



氷見市には、移住・定住関連の補助金以外にも、氷見市へ移住または定住を検討している方が一定期間利用可能な「移住・定住促進住宅」や１日から利用可能な移住体験施設「まちのトマル場」があります。いきなり移住するのは不安という方には嬉しいサービスです。先進地の事例を参

考に議会も行政と共に移住定住対策に取り組まなければならないと感じました。



⇔ 移住・定住促進住宅を視察



福井県立一乗谷倉氏遺跡博物館

福井県福井市にある「一乗谷朝倉氏遺跡博物館」は、栄華を誇った朝倉氏戦国城下町の全体像や歴史的価値を楽しみながら学べる施設です。国指定重要文化財を含む約500点の出土資料のほか、歴史資料や朝倉館原寸再現、城下町のジオラマ、石敷遺構の露出展示が見どころとなっています。

古戦場のまちである関ヶ原町も観光客に何度も訪れたいと思っていただけのような施策を講じていかなければならないと感じました。



表紙の写真



▶子ども議長を務めた関ヶ原小学校6年の桐山明莉さん(右)と水野太葵さん(左)

令和6年2月14日(水)に関ヶ原町子ども議会が開催されました。関ヶ原小学校6年の桐山明莉さんと水野太葵さんが子ども議長を務め、6名の子ども議員が町に提案し、町長、副町長が答弁しました。今年度は4年ぶりに6年生全員が議場に集まり、傍聴席から見学しました。子ども議員からは、「関ヶ原町の人口減少を解決する取り組み」や「空き家の有効活用」などについての提案がありました。